

2025 年度 SDGs 未来都市計画(様式1)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

地方自治体の長の氏名

※ 押印は不要

計画のタイトル	〇〇〇〇
応募者	〇〇〇〇
担当者・連絡先	担当者の所属 〇〇〇〇 役職・氏名 〇〇〇〇 電話番号 〇〇〇〇 ファックス番号 〇〇〇〇 メールアドレス 〇〇〇〇

- ・ 留意事項 ※提出する計画からは本頁を削除すること。

【文量について】

- ・ 簡潔に記載し、計 30 頁程度で作成すること。
- ・ 頁数の制限のある項目は留意すること。
- ・ 参考資料については添付不可とする。なお、関係するホームページ URL の記載を妨げないが、必要最小限とすること。

【体裁等について】

- ・ 文字は注記、解説、表中の記述等を除き原則として 11 ポイント以上の大きさとする。
- ・ 文章の語尾は「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一すること。
- ・ 改ページの位置は変更しないこと。また、改ページの文言は削除すること。
- ・ 必要に応じ、図、画像又は定量的なデータを記載すること。
- ・ 計画フォーマットに記載された、各項目名を変更しないこと。

【その他】

- ・ 本提案書と SDGs 未来都市計画の内容に齟齬がないこと。

< 目次 >

1.将来ビジョン	4
(1) 地域の実態	4
(2) 2030 年のあるべき姿(目指す将来像)	4
(3) 2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット	5
2.三側面(経済・社会・環境)の取組	8
(1) 自治体 SDGs の推進に資する三側面の取組	8
(2) 統合的取組	10
(2-1)統合的取組の事業	10
(2-2)統合的取組による相乗効果等(新たに創出される価値)	11
(3) 情報発信	13
(4) 全体計画の普及展開性	14
3.推進体制	15
(1) 各種計画への反映	15
(2) 行政体内部の執行体制	16
(3) 多様なステークホルダーとの連携(地域の多様な主体の参画)	17
4.自律的好循環の形成	18
5.地方創生・地域活性化への貢献	18

[illegible]

※記載例

① ○○○○な都市

- ・〇〇〇〇のエリアにおいて、〇〇〇〇や〇〇〇〇等の取組が進むことにより、〇〇〇〇や〇〇〇〇の都市が実現している。

② 〇〇〇〇な暮らし

- ・〇〇〇〇を対象にした、〇〇〇〇や〇〇〇〇等の取組が進むことにより、〇〇〇〇や〇〇〇〇な暮らしが実現している。

(3) 2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

- 2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲットを、経済・社会・環境のそれぞれの側面について記載してください。
- 各ゴール、ターゲットについて、KPI を設定、記載してください。
- 提案の際、ロジックモデル及びインパクト評価を用いた場合、計画書へ記載してください。
- また、記載したゴール、ターゲット及び KPI について、理由を記載してください。
- 選択するゴール、ターゲットの数に制限は設けませんが、総花的なゴール・ターゲットの選択にならないよう留意してください。また、1 つのゴール、ターゲットに対して複数の KPI を設定したり、複数のゴール、ターゲットに対して共通の KPI を設定したりしても構いません。
- KPI の目標年次は 2030 年を目安としますが、既に策定済みの総合計画、環境基本計画等において、中長期的目標の設定がある場合は、それを引用しても構いません。また、KPI を今後新たに検討、策定する予定がある場合は、現段階では暫定的な目標設定でも構いません。

(經濟)

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコン をここに 貼り付け ○, ○	指標: ○○○○	
	現在(○年○月): ○○○○	2030 年: ○○○○
○, ○	指標: ○○○○	

※記載例

(環境)

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 ゴール: 7 ターゲット: 7. 2、7. 3、 7. a	指標:再生可能エネルギー導入量	
	現在(〇年〇月): 〇〇〇〇	2030 年: 〇〇〇〇

〇〇〇〇や〇〇〇〇といった地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を進め、〇〇〇〇という 2030 年のあるべき姿の実現を図る。

※1 つのゴール、ターゲットに対して複数のKPIを設定、または、複数のゴール、ターゲットに対して共通のKPIを設定する際の記載例

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコン をここに 貼り付け ゴール: 〇 ターゲット: 〇、〇〇、	指標:〇〇〇〇	
	現在(〇年〇月): 〇〇〇〇	2030 年: 〇〇〇〇
	指標:〇〇〇〇	
	現在(〇年〇月): 〇〇〇〇	2030 年: 〇〇〇〇
ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコン をここに 貼り付け ゴール: 〇 ターゲット: 〇、〇〇、	指標:〇〇〇〇	
	現在(〇年〇月): 〇〇〇〇	2030 年: 〇〇〇〇
アイコン をここに 貼り付け ゴール: 〇 ターゲット: 〇、〇〇、		

- ここで設定する KPI は、「2030 年のあるべき姿に向けた優先的なゴール」で掲げた KPI の達成に繋がることを意識したものを設定してください。KPI は成果・効果を踏まえたアウトカム指標が設定されることが望まれます。
- 応募の際、ロジックモデル及びインパクト評価を用いた場合、計画書に記載してください。
- 記載する KPI の数に制限は設けていませんが、適切な数の KPI を設定してください。
- 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）による資金的支援を希望する事業については、末尾に「（第2世代交付金申請予定事業）」と記載してください。

[illegible]

〇〇〇〇(三側面をつなぐ統合的取組)の活用により、経済面の〇〇〇〇の取組が改良・改善され、環境面において〇〇〇〇の増加という相乗効果(新しい価値)の創出が見込まれる。

(3) 多様なステークホルダーとの連携(地域の多様な主体の参画)

- ステークホルダーとの連携によるメリットを、域内外の主体(住民、企業・金融機関、教育・研究機関、NPO 等)、国内の自治体、海外の主体に分類して、記載してください。
- 記載にあたっては、連携内容及びそのメリットについて、具体的に記載してください。
- 具体的な連携相手の名称及び連携内容が決まっている場合は、その詳細を記載してください。
- 記載するステークホルダーの数に制限は設けませんが、「住民」、「企業・金融機関」、「教育・研究機関」、「NPO 等の団体」以外については、独自性のあるシンボリックなステークホルダーを記載することとし、過度に冗長な記載とならないよう留意してください。

団体・組織名等	事業における位置付け・役割
〇〇〇〇	〇〇〇〇

